

見て！聞いて！感じよう！地球の生活

連続講座『新卒での協力隊参加を考える』

大学卒業後の仕事や活動のフィールドは日本国内というのが常識だったのは今は昔の話。海外へ踏み出す最初の一步としての青年海外協力隊の意味を考えます。講師は共に社会経験の無いまま協力隊に参加し、帰国後も自身の取り組みを展開する協力隊OB。二人の経験をお話頂きます。

日時	第1回 日時：平成25年2月3日（日）14：00～15：30 講師：佐藤健さん（赴任国：フィリピン、職種：稲作）
	第2回 日時：平成25年3月3日（日）14：00～15：30 講師：牧菌舞さん（赴任国：モロッコ、職種：青少年活動）
場所	JICA中部セミナールームB 13：30受付開始
定員	30名（要予約） ※参加費無料
申込方法	氏名・所属・連絡先（電話番号）をメールでご連絡ください。
申込先等	青年海外協力隊愛知県OB会 任国紹介委員会 event@jocv.main.jp



【講師プロフィール】

佐藤 健（さとう けん）

名古屋大学農学部資源生物環境学科卒業、名古屋大学大学院生命農学研究科前期課程修了。大学院修了後青年海外協力隊に参加。赴任国はフィリピン、職種は稲作。2年5ヶ月の活動を終えて帰国後、農事組合法人中甲へ就職。その後、財団法人豊田市国際交流協会（現在公益財団法人）へ就職、現在に至る。

協力隊時代に知り合ったフィリピン人女性と結婚、二児をもうける。

【講師から一言】

後先も考えず協力隊参加を決めたのが12年前。そのときの自分に何を伝えたい？「熱いハート」と「クールな頭」で考えよう！



【講師プロフィール】

牧菌 舞（まきその まい）

名古屋大学大学院国際開発研究科修士1年次に国連機関のインターンシップに参加。フィールド経験の必要性を感じ、青年海外協力隊に応募。2009年9月から2年間モロッコで活動。現地では青少年を対象とした日本語教室、日本文化紹介講座、運動教室を開講。帰国後は同大学の博士課程で移民の研究中。

【講師から一言】

青年海外協力隊は、新卒でも参加できることを知っていますか？私が協力隊員になるまでの経緯と、モロッコでの2年間の活動を通して学んだことをお伝えします。海外ボランティアに興味のある方、海外での実務経験を積みたい方、必見！



【会場ご案内】

JICA中部 セミナールームB

住所：〒453-0872 愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60-7

電話：052-533-0220（代表）

あおなみ線 ささしまライブ駅下車 徒歩5分、各線名古屋駅下車 徒歩15分

【お問い合わせ先】

青年海外協力隊愛知県OB会 任国紹介委員会 加藤

主催 青年海外協力隊愛知県OB会 共催 JICA中部